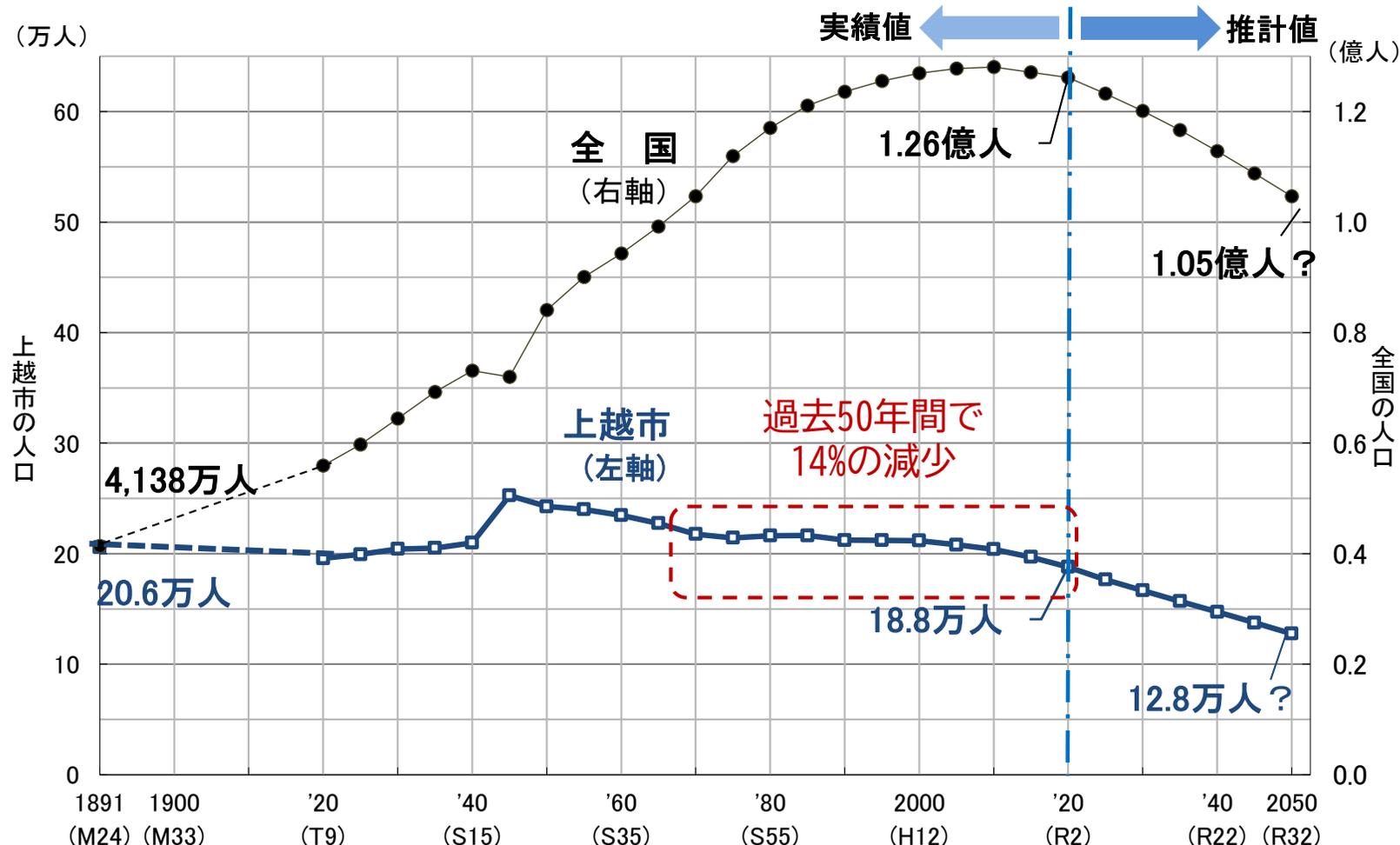


特徴的なデータ等の抜粋

- ・ 上越市の人口・世帯数の概況(創造行政研究所)
- ・ 各具体的施策の進捗状況等 (進捗が遅れているものの抜粋)
- ・ 若者世代・子育て世代の市民アンケート
- ・ 高校生アンケート
- ・ 社会経済環境の変化等に関する参考データ

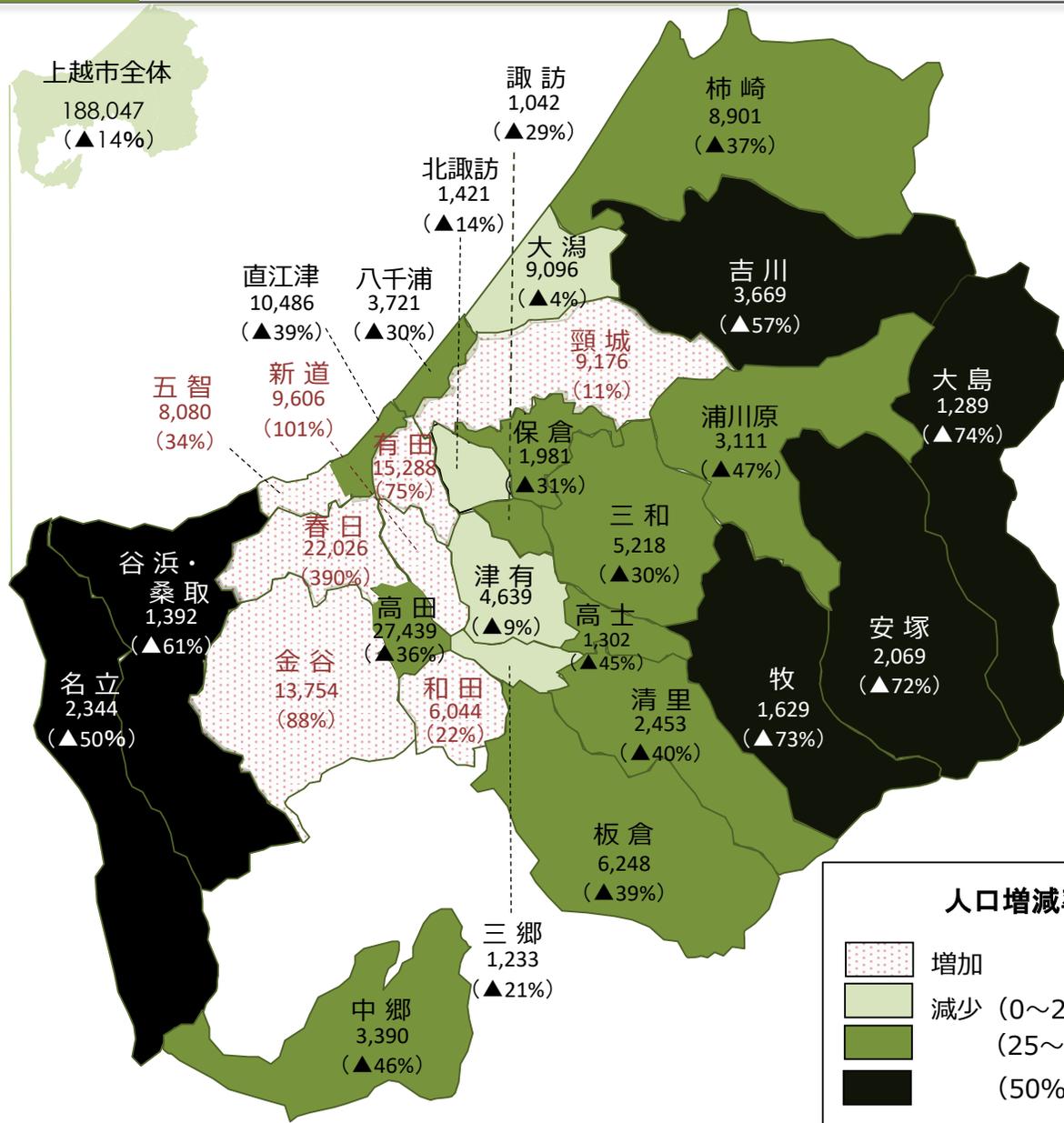
上越市の総人口の推移 (1891~2020~2050推)



出所)陸軍省「徴発物件一覧表」(1891)、総務省「国勢調査」(1920-2020)、国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」(2025-50)

- ☞ 全国の人口は過去120年間で3倍。その後2010年をピークに減少に転換。
- ☞ 上越市の人口は、長期的に見れば横ばいで推移しているともいえるが、近年の減少は加速気味。

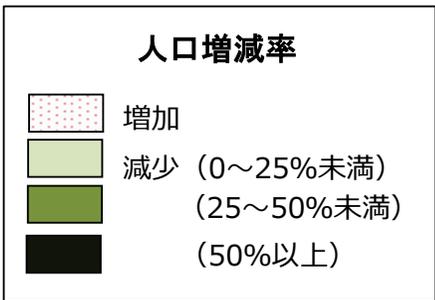
上越市内地区別の人口増減率（1970→2020）



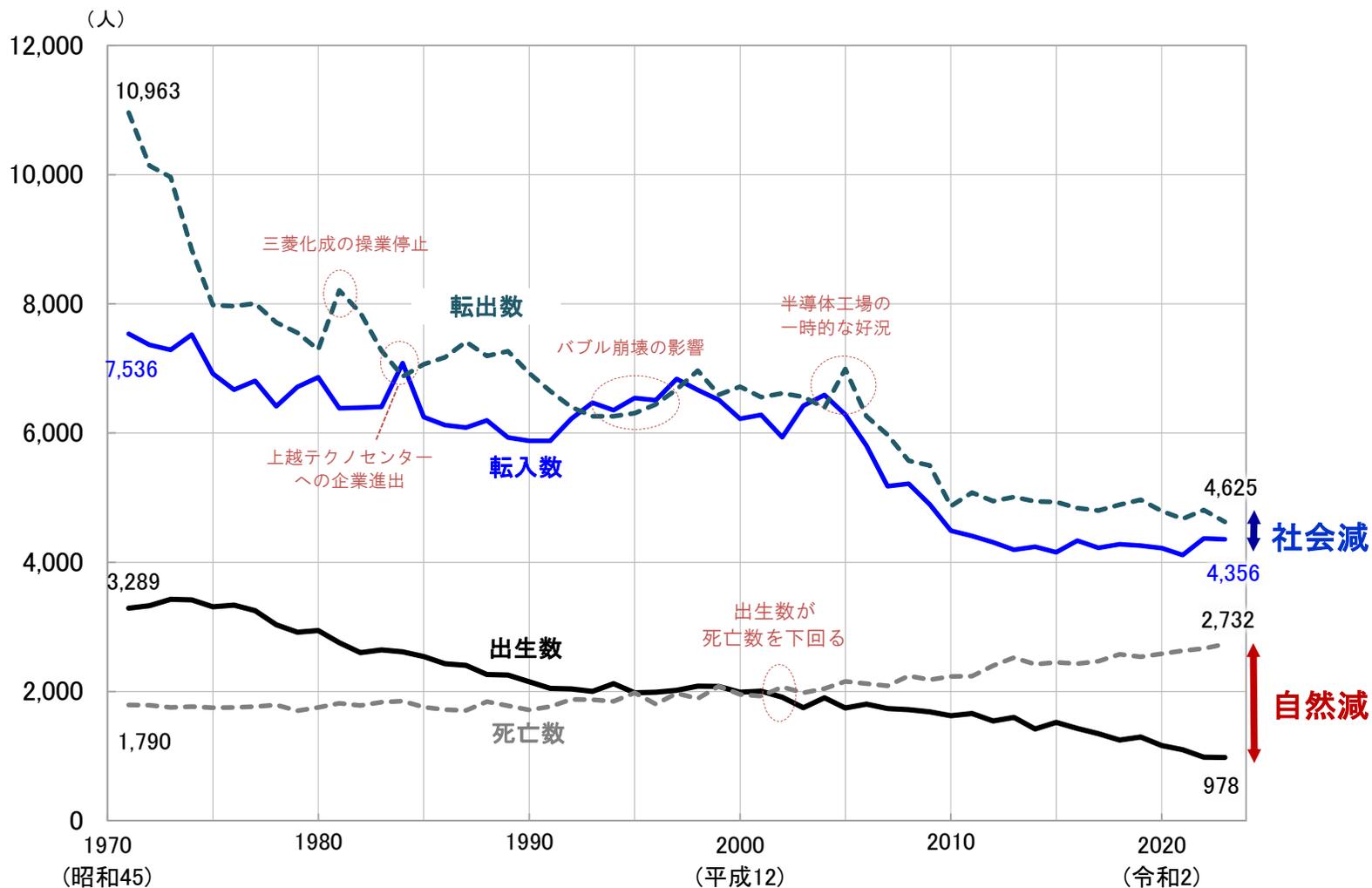
- 地区によって増減の程度は様々
- 中山間地域の大幅な人口減少
- 中心市街地の人口減少
- 中心市街地に隣接する地区での大幅な人口増加

出所) 総務省「国勢調査」

備考) ここでいう地区とは地域自治区のことを指す。ただし、直江津区のみ直江津と五智に分離



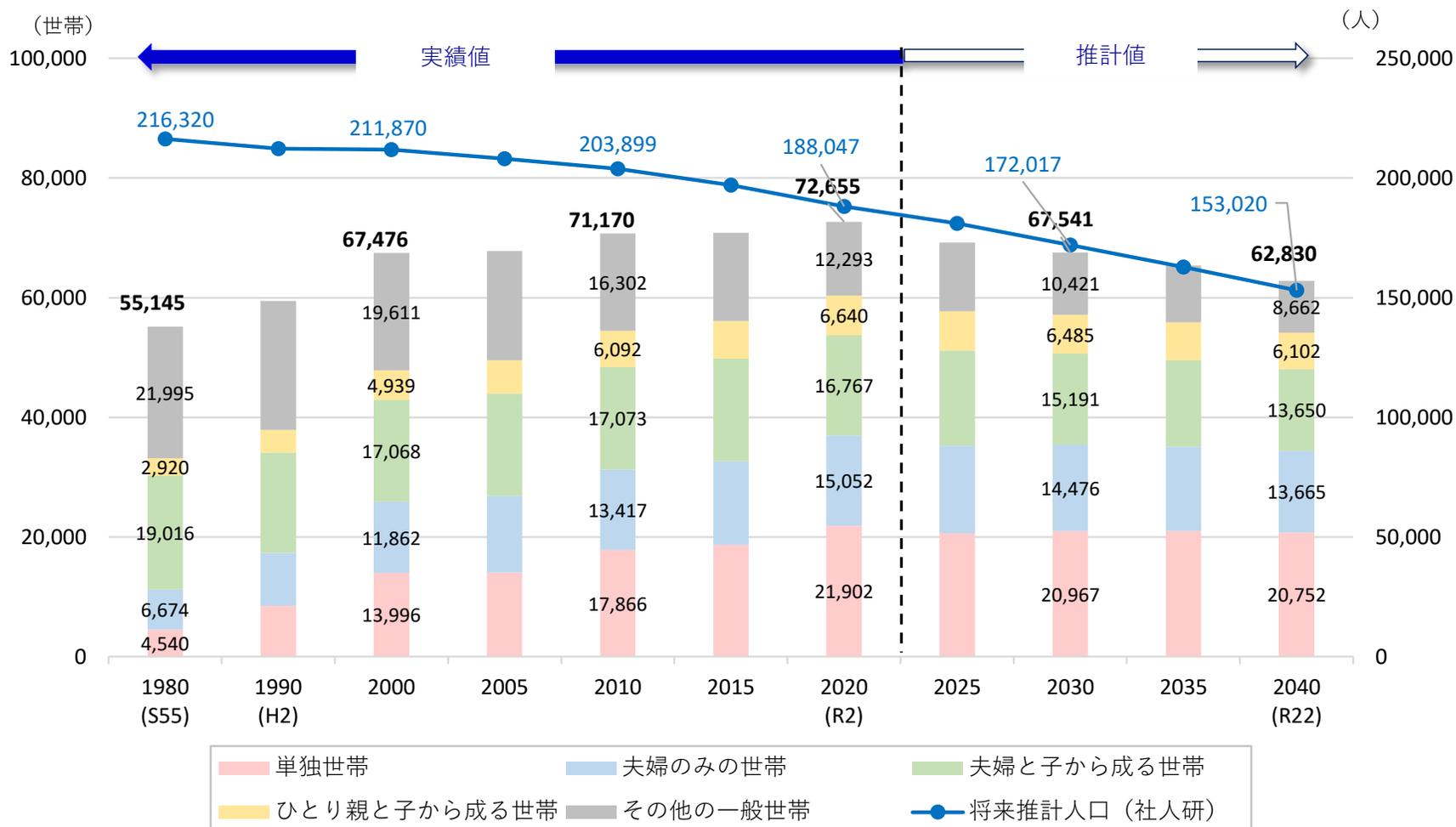
上越市の人口動態の推移 (1971~2023)



出所) 新潟県「人口移動調査結果報告」

出生数は、約50年間で7割減少
 2002年から自然減が継続し、出生と死亡の差は拡大傾向にあり
 転入数は概ね転出数を下回る(一時的な経済状況の変化による例外もあり)

上越市の将来推計世帯数（1980～2040推計）



出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2019年推計) 及び「日本の地域別将来推計人口(都道府県・市区町村別)」(2018年推計)をもとに作成

👉 これまでは総人口が減っても世帯が細分化されることで世帯数は増加。 今後は世帯数についても減少に転ずることが見込まれる。

上越市の人口・世帯数の動向（概要）

1 上越市の人口について

- 上越市の人口は、①出生数の減少（少子化の進行）、②死亡数の増加（高齢化の進行）、③転入を上回る転出（＝転出超過）によって減少傾向が続いている。
 - ① 出生数の減少は、若年女性人口の減少、独身割合の増加、晩婚化・晩産化などが直接的な要因である。
 - ② 死亡数の増加は、高齢者人口の増加が主な要因であるが、平均寿命の延伸によりそのスピードは抑えられている。
 - ③ 転出超過については、特に若年層・女性を中心に、東京圏などへの転出が目立っている。一方、近年は国外からの転入増により、人口減少が若干緩和されている。
- このままのペースで進むと、今後さらに人口減少が進む可能性が高い。
- 人口減少自体を食い止めることは極めて困難であり、ある程度の減少を前提としたまちづくりへの転換が必要。
- 一方、持続可能な当市の発展のためには、人口減少の要因を踏まえ、人口の安定化を目指してそのペースを緩和させる取組もあわせて必要。

特徴的なデータ等の抜粋

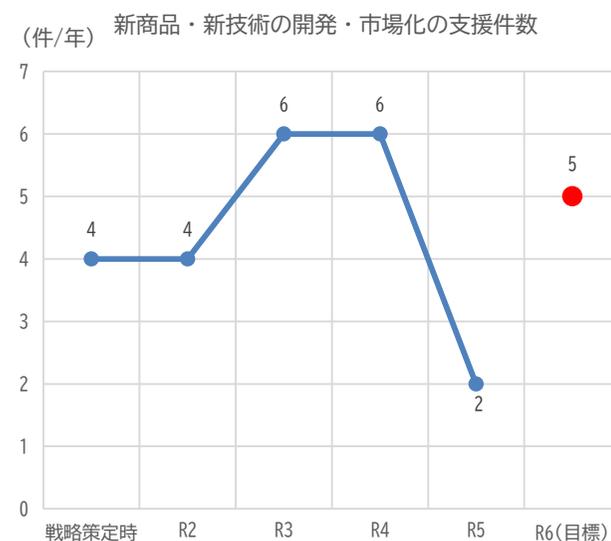
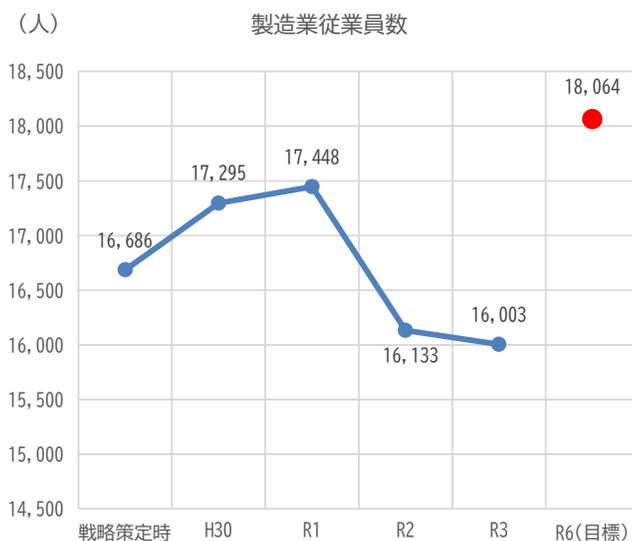
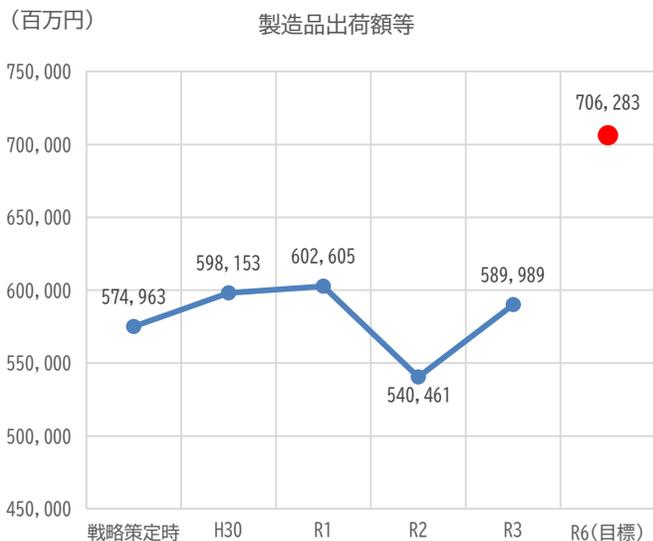
- ・ 上越市の人口・世帯数の概況(創造行政研究所)
- ・ 各具体的施策の進捗状況等 (進捗が遅れているものの抜粋)
- ・ 若者世代・子育て世代の市民アンケート
- ・ 高校生アンケート
- ・ 社会経済環境の変化等に関する参考データ

しごとづくり分野

A-1 地域産業の活性化

A-1-3 ものづくりを核とした中小企業の成長促進

KPI



これまでの主な取組

○協議会団体 ・なし

- 市
- ・ものづくり振興専門員の企業訪問等による、企業支援コーディネート、マッチング。
 - ・製造業管理者向け研修や、経営者・管理者向け研修等の開催。
 - ・工場や設備等の新設・増設・更新に対する奨励措置、市内産業団地等の取得に対する補助。

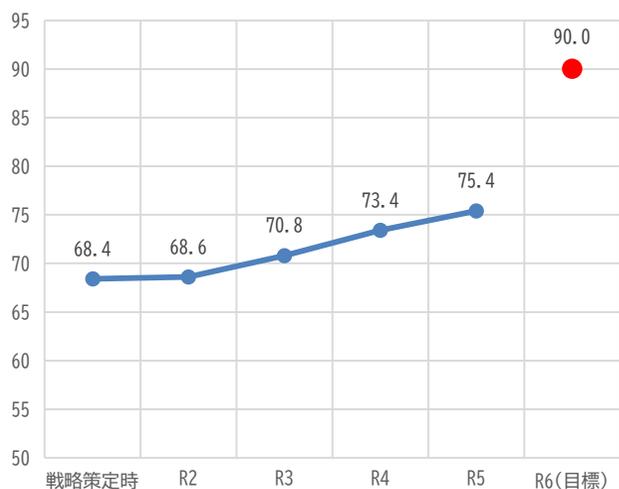
しごとづくり分野

A-1 地域産業の活性化

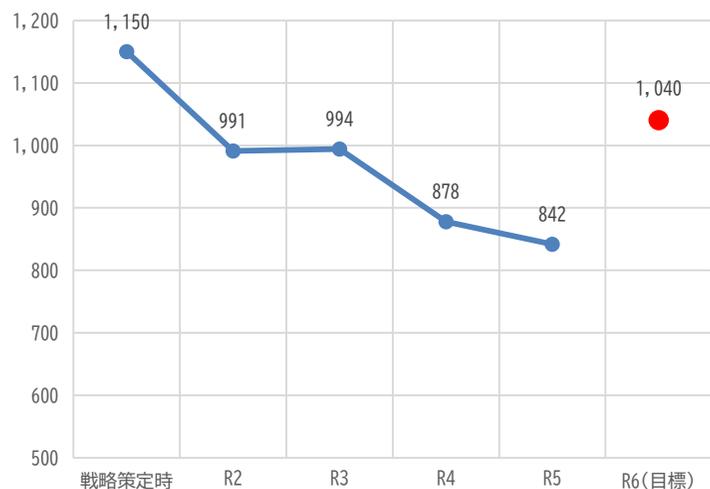
A-1-4 農業の競争力強化と担い手確保

KPI

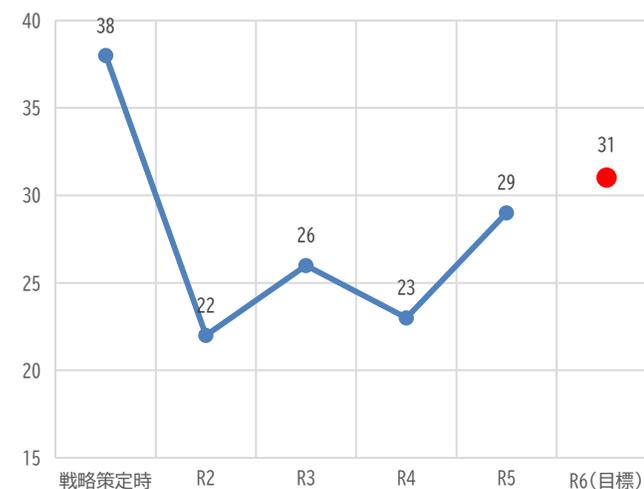
(%) 認定農業者等の担い手への農地集積率



(人) 認定農業者数



(人) 新規就農者数



これまでの主な取組

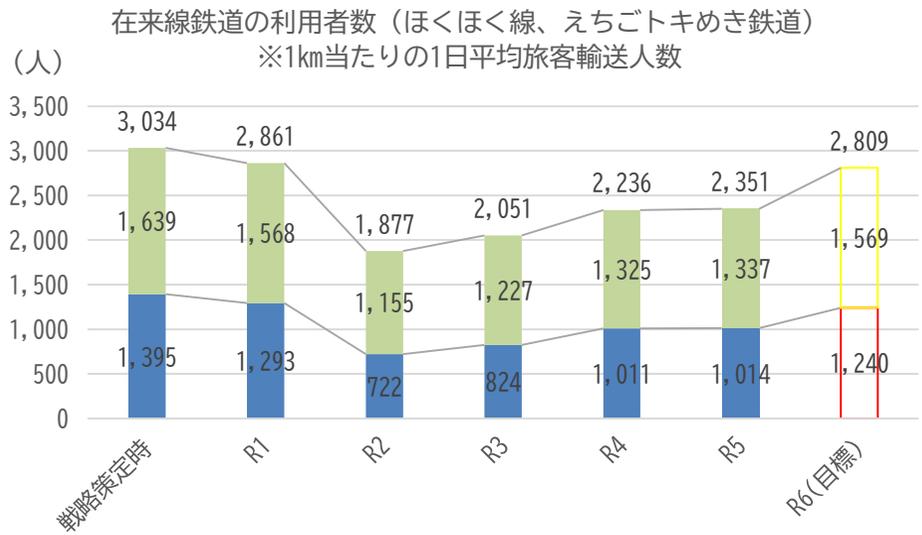
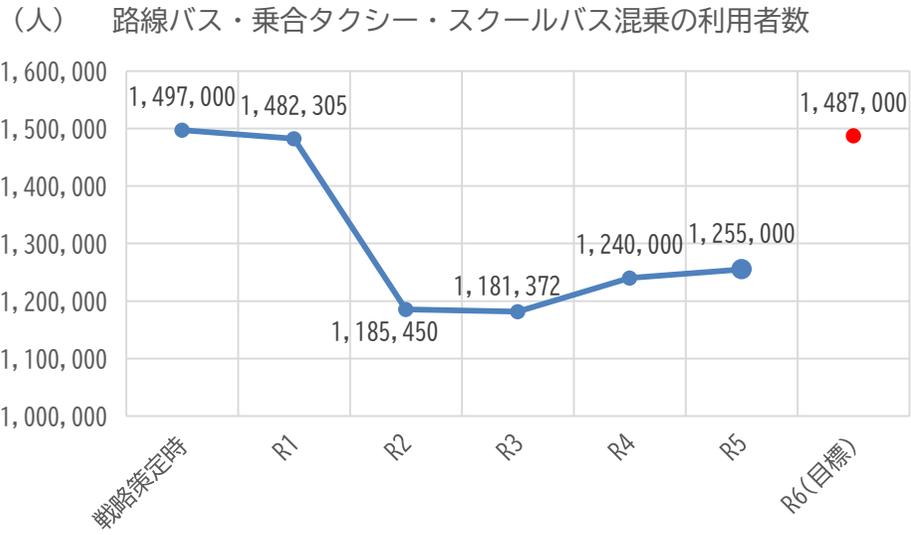
- 協議会団体
 - ・北陸農業に適した水稻や大麦等の新品種・新技術による地域農業の競争力強化。(官)
 - ・農福連携に関する障害者の就労支援コーディネート、農福連携セミナーの実施。(民)
 - ・中山間地域元気な農業づくり推進員等による、農業所得向上に向けた指導、助言。(産)

- 市
 - ・地域資源を活用した農業者等による6次産業化の取組に対する支援。
 - ・認定農業者の確保・育成や集落営農による組織化・法人化の促進、各種研修会の開催に対する支援。
 - ・スマート農機による生産コストの低減や、作業の省力化を図る栽培技術の普及。

まちの活性化分野

C-3 地域と地域を結ぶつながりの強化 C-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進

KPI



これまでの主な取組

○協議会団体

- ・ トキ鉄の利用促進及び沿線地域の活性化を図るための、サポーターズクラブ事業の推進。(産)
- ・ バス停留所の新設による利便性向上、イベント等へのブース出展を通じた路線バスのPR。(産)

○市

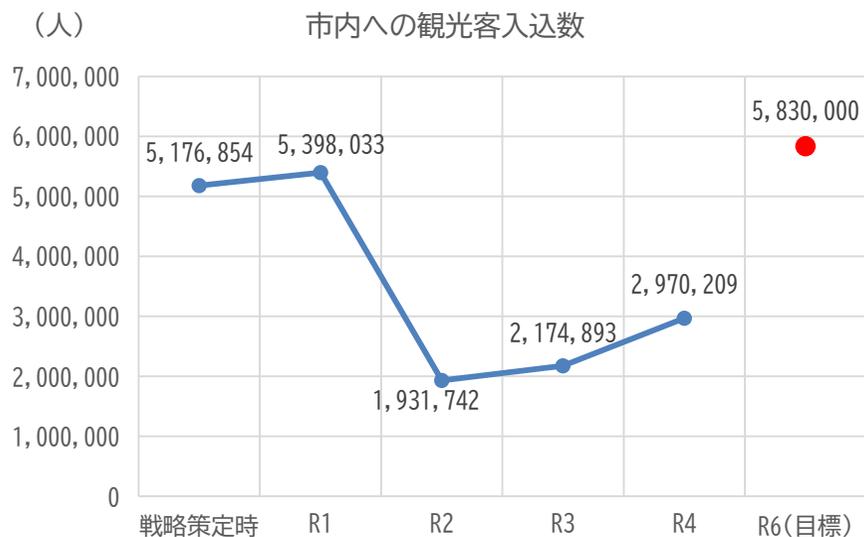
- ・ オンデマンド交通システムを活用した予約型コミュニティバスの運行。
- ・ バスの利便性向上を図るための、バスロケーションシステムの運用。
- ・ 県や沿線自治体、鉄道事業者と連携した、マイレール意識の醸成等につながる利用促進の取組。

まちの活性化分野

C-4 交流人口の拡大による自立したまちづくり

C-4-1 観光コンテンツの充実と各担い手の観光マインドの底上げ

KPI



これまでの主な取組

- 協議会団体
 - ・地域独自の観光資源を活用した、地域の稼げる看板商品の創出事業。(産)
 - ・屋内外でのワーク実証や、市内のスポットの視察を行ったワーケーション実証事業の実施。(民)
 - ・県外市外で開催された観光イベントや商談会、物産店等への出展。(産)

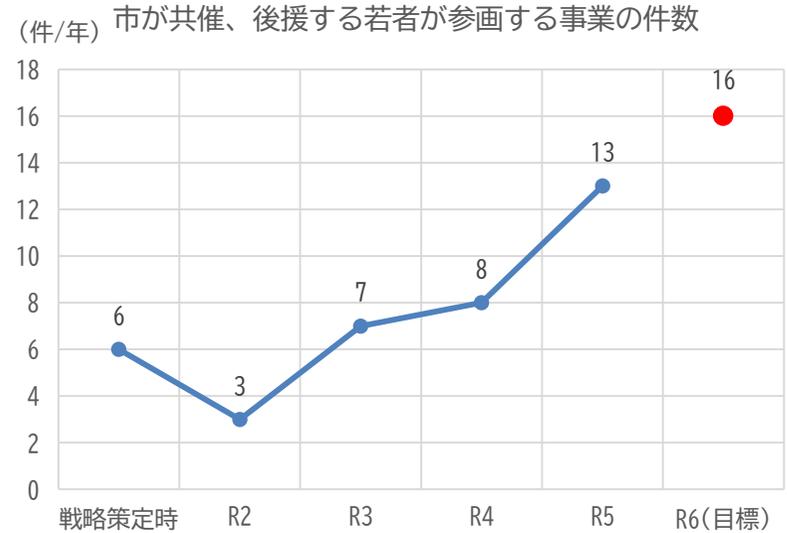
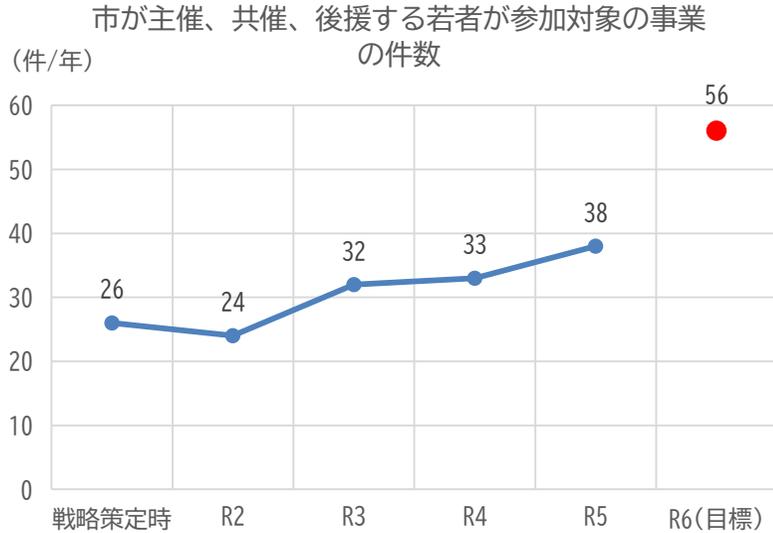
- 市
 - ・学校団体等へのものづくり体験や農業体験のほか、探究学習を活用したプログラムでの田舎体験の受け入れ。
 - ・インバウンドに関する各種商談会での当市のPR、観光事業者向けのインバウンドセミナーの開催。
 - ・観光地域づくり実践未来塾や、SNSを活用したフォトコンテストの実施。

UIターンとまちの拠点性・担い手づくり

D-3 まちを担う若者人材等の育成と交流

D-3-1 若者の人材育成と交流促進

KPI



これまでの主な取組

- 協議会団体
 - ・eスポーツの無料体験会、市内初のeスポーツ大会の開催。(民)
 - ・若者が企画、参加するスポーツ交流会、球技大会、各種イベント等の開催。(民)
 - ・自主性・協調性等の成長を目的とした、直江津海水浴場でのサンドクラフトの作成。(民)

- 市
 - ・市内在学の高校生等を対象にした上越市のPR映像コンテストの開催。
 - ・若者が主体的に活動している市外団体の取組や事例を学ぶ研修会、交流会の開催。
 - ・まちの活性化や賑わい創出、関係人口創出につながる活動にチャレンジする若者に対する支援。

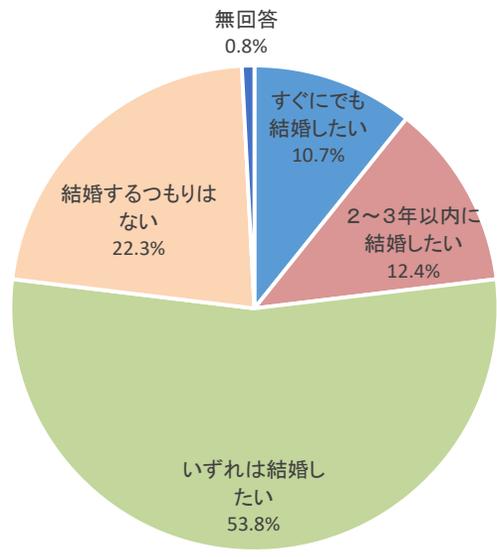
特徴的なデータ等の抜粋

- ・ 上越市の人口・世帯数の概況(創造行政研究所)
- ・ 各具体的施策の進捗状況等 (進捗が遅れているものの抜粋)
- ・ 若者世代・子育て世代の市民アンケート
- ・ 高校生アンケート
- ・ 社会経済環境の変化等に関する参考データ

「結婚」に関する回答（結婚していない人の結婚の意識）

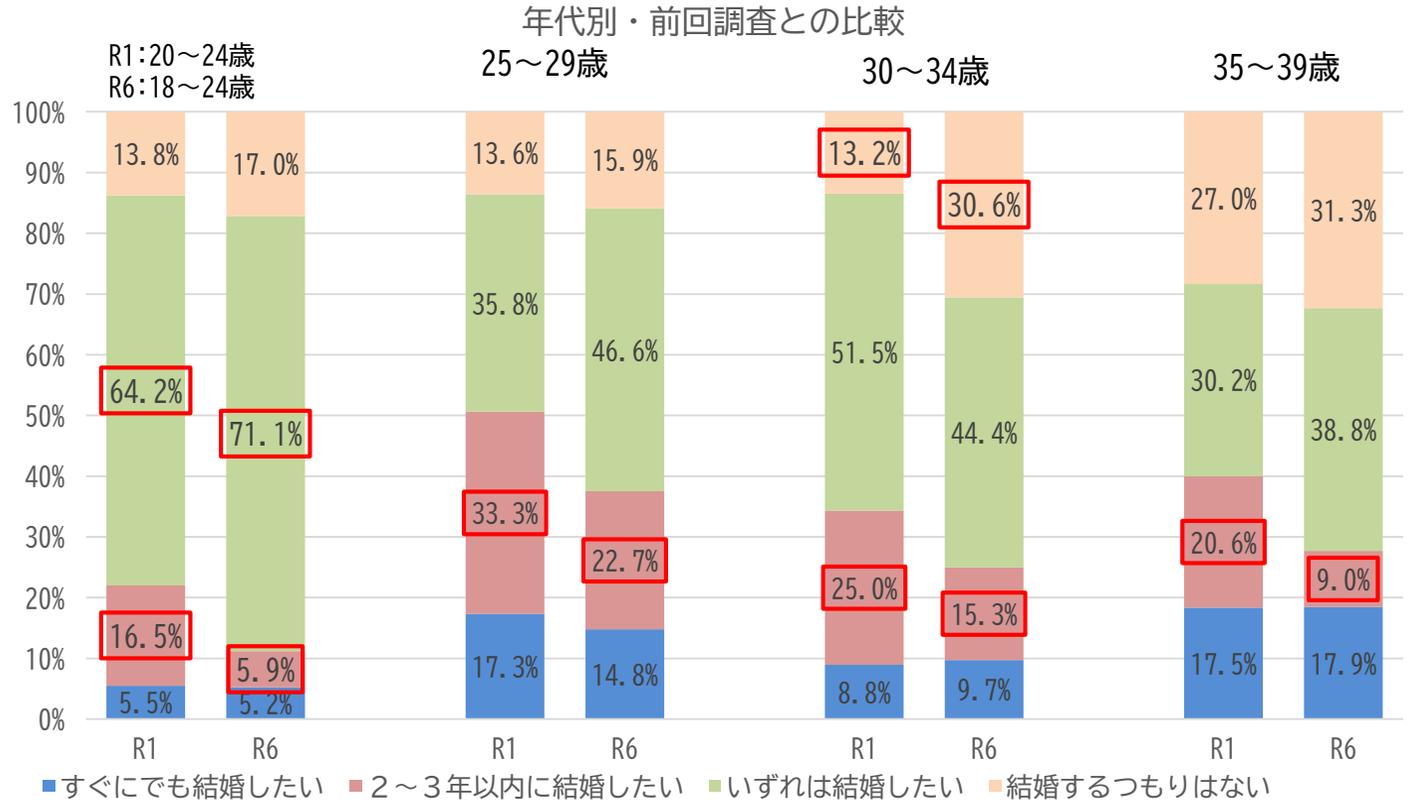
- 現在結婚していない人のうち、結婚したいと答えている人は約77%で、令和元年度調査と比較して約6%減少しており、特に「2～3年以内には結婚したい」人の割合は、全年代で減少している。
- 年代別に見ると、24歳以下の「いずれは結婚したい」が約7%増加しており、18～19歳を調査対象に追加したことが要因と推察する。
- このほか、30代前半の「結婚するつもりはない」が約17%増加している。

問1 将来結婚したいと考えているか



令和元年度調査との比較

- ・ すぐにでも ▲約1%
- ・ 2～3年以内 ▲約11%
- ・ いずれは +約6%
- ・ つもりはない +約6%



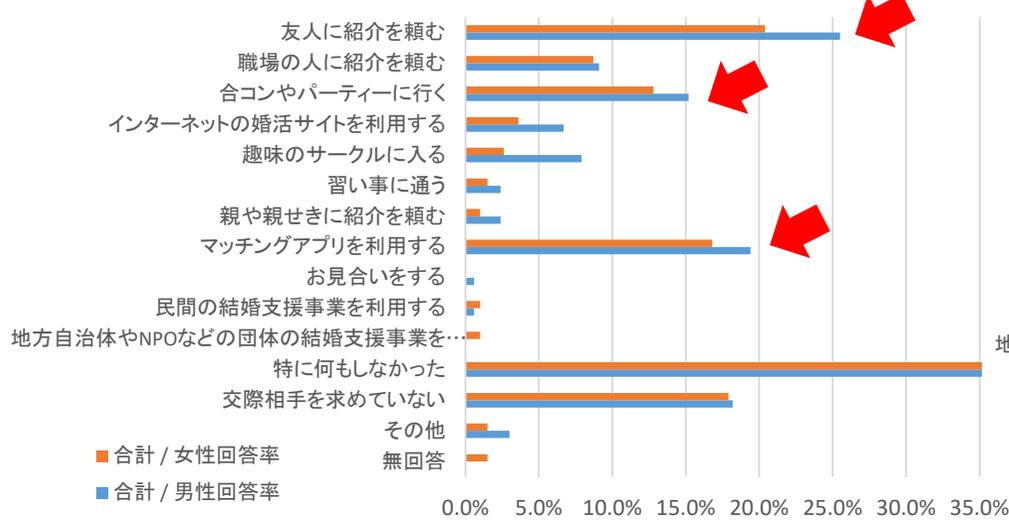
※「結婚していた」と「結婚していない」の人数に対する回答率、無回答は除く。

「結婚」に関する回答（婚活の意識）

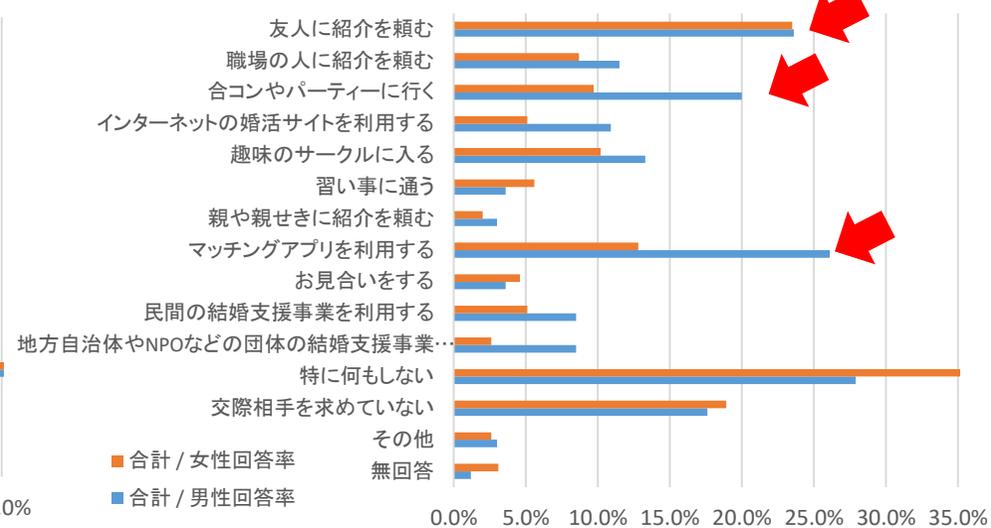
○ 出会いを求めるために過去に行ったこと、今後行いたいこと、いずれも、マッチングアプリの利用が令和元年度調査と比較して約10%増加している。

○ 友人の紹介や合コン・パーティも依然として高い割合にはあるが、減少傾向にある。

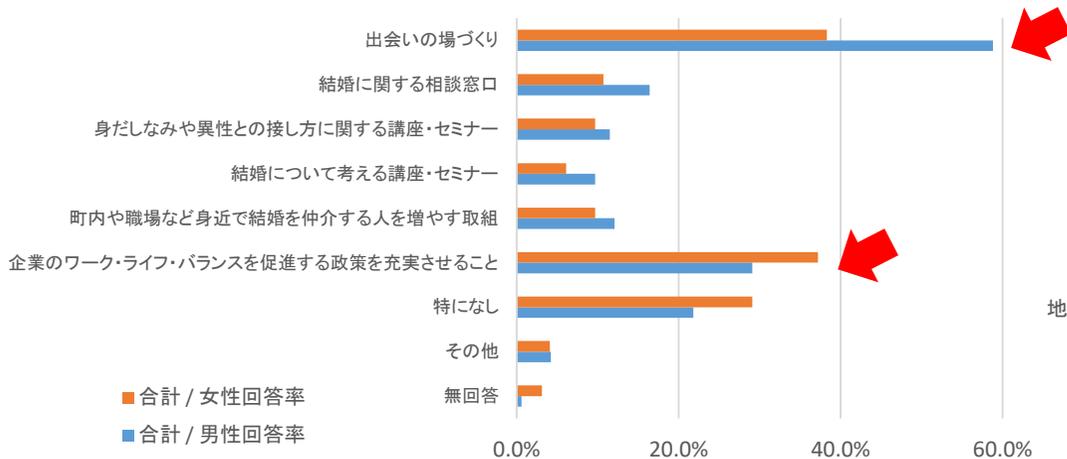
問4 出会いを求めるために過去に行ったこと



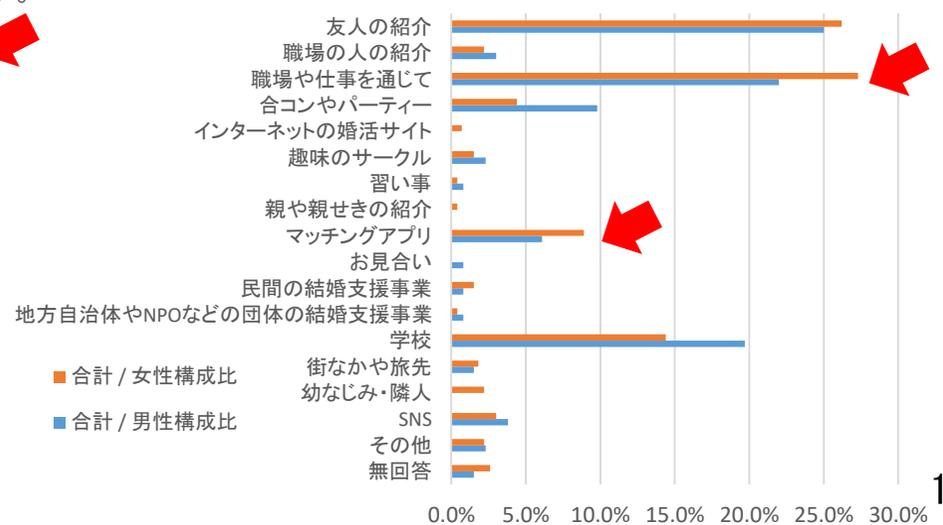
問5 出会いを求めるために今後行いたいこと



問6 結婚したい人に対する支援について、どんな取組があったらよいと思うか。



問7 配偶者との出会いのきっかけ

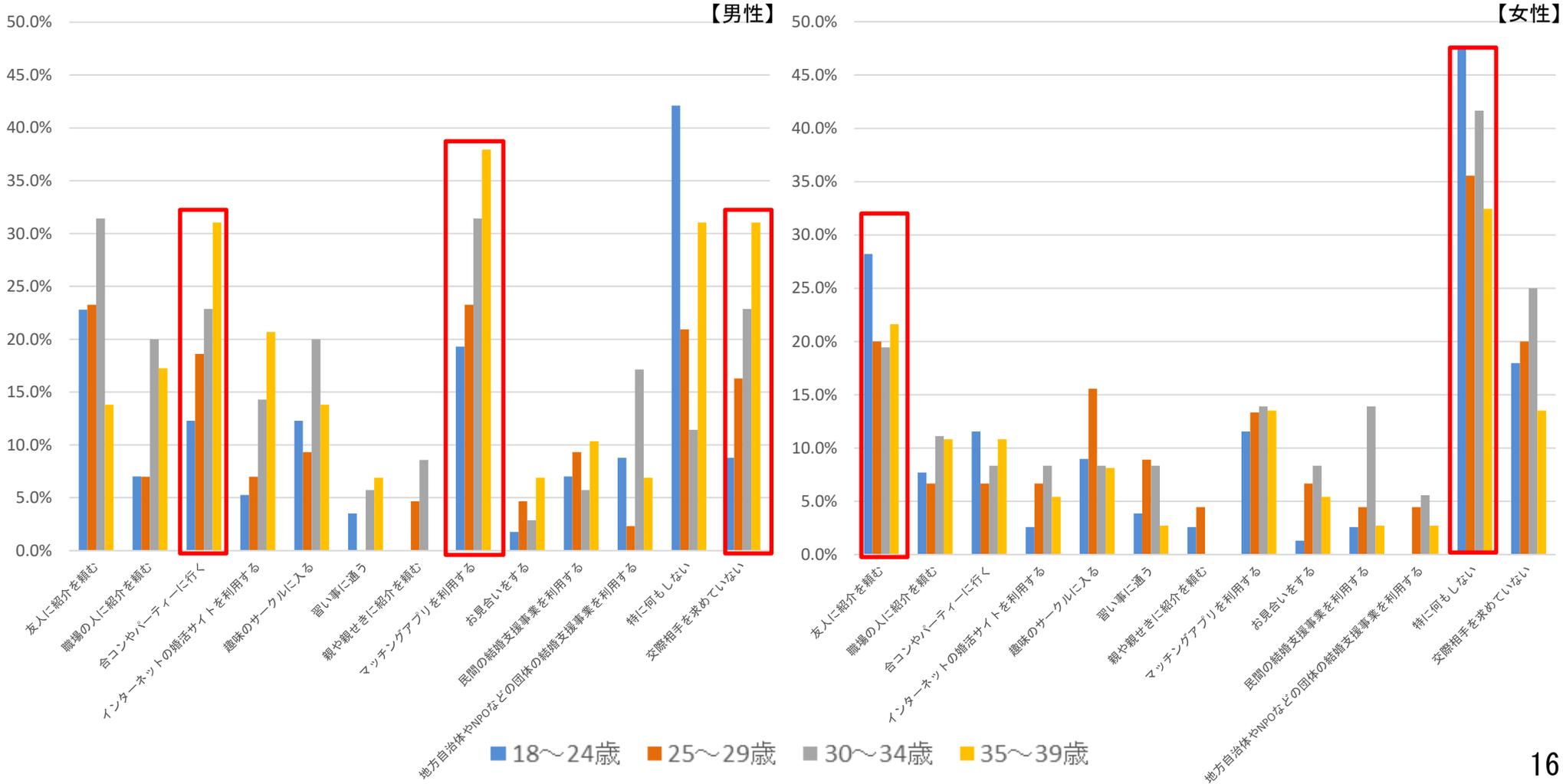


※現在結婚していない人（364人）に対する回答率

「結婚」に関する回答（婚活の意識（性別・年代））

- 今後行いたいことは、男性は30代後半になるにつれて「マッチングアプリ」や「合コンやパーティに行く」の割合が高まる一方で、「交際相手を求めている」の割合も増加している。
- 女性は、各年代で「特に何もしない」の割合が最も多く、次いで「友人に紹介を頼む」の割合が多い。また20代後半では、「趣味のサークルに入る」の割合が多い

問5 出合いを求めるために今後行いたいこと（無回答、その他を除く）

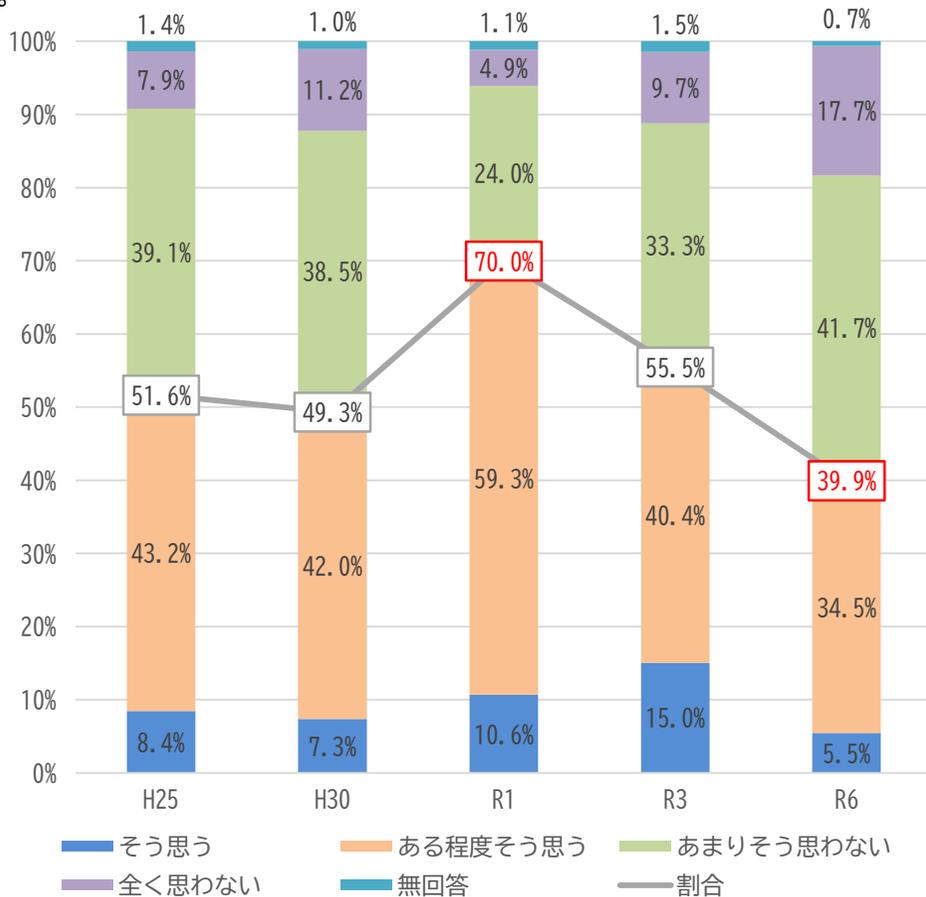


「出産・子育て」に関する回答 (出産や子育てがしやすいと感じる割合)

若者世代・子育て世代の市民アンケート

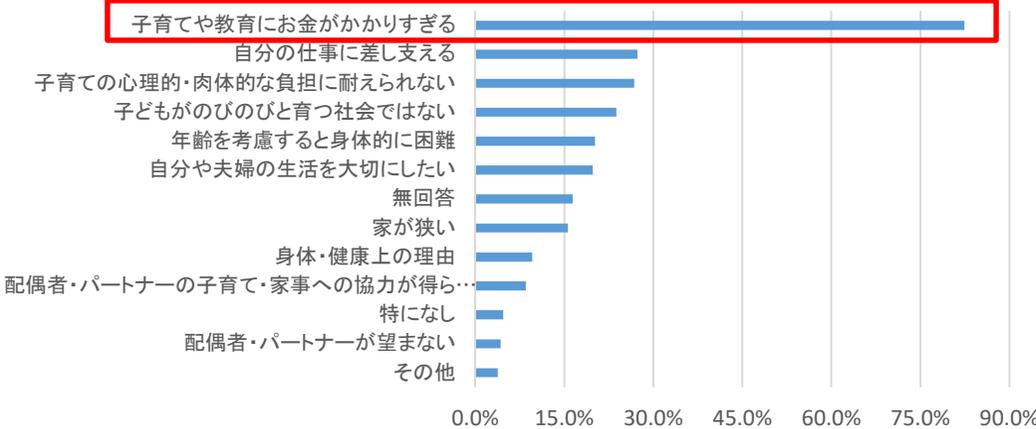
- 出産や子育てがしやすいと思う割合は、令和元年度調査と比較して約30%減少しており、全年代、性別で「そう思う」「ある程度そう思う」が大きく減少している。
- 出産や子育てに関して不安に思っていることや取組を強化してほしいこととして、経済的な内容が最も多い。

問10 現在の生活実態・生活実感として、出産や子育てがしやすいと思いますか。

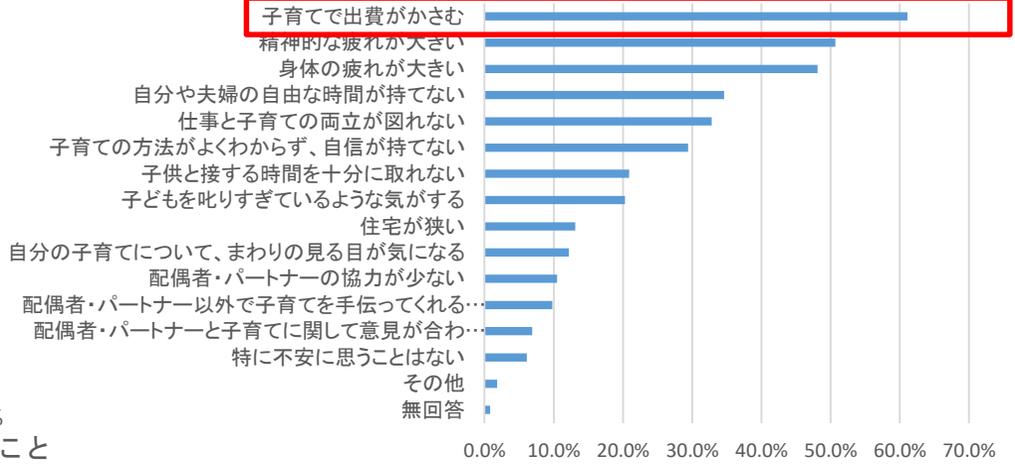


その他の結婚・出産・子育て関連の回答

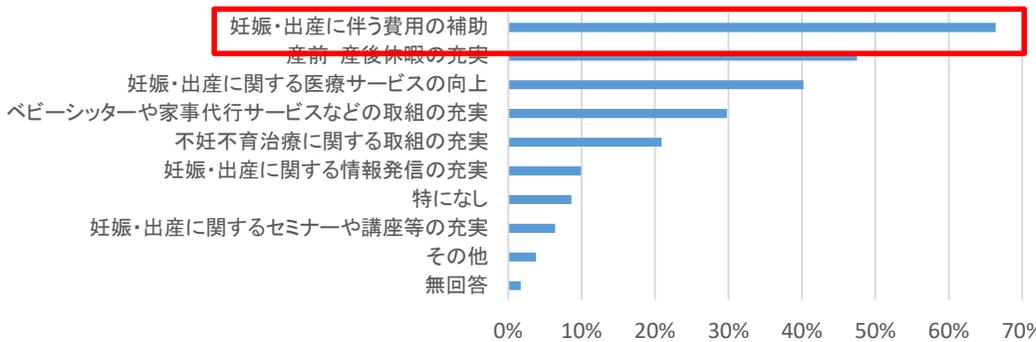
問13 理想とする子どもをもつ上で問題になると感じている(いた)こと



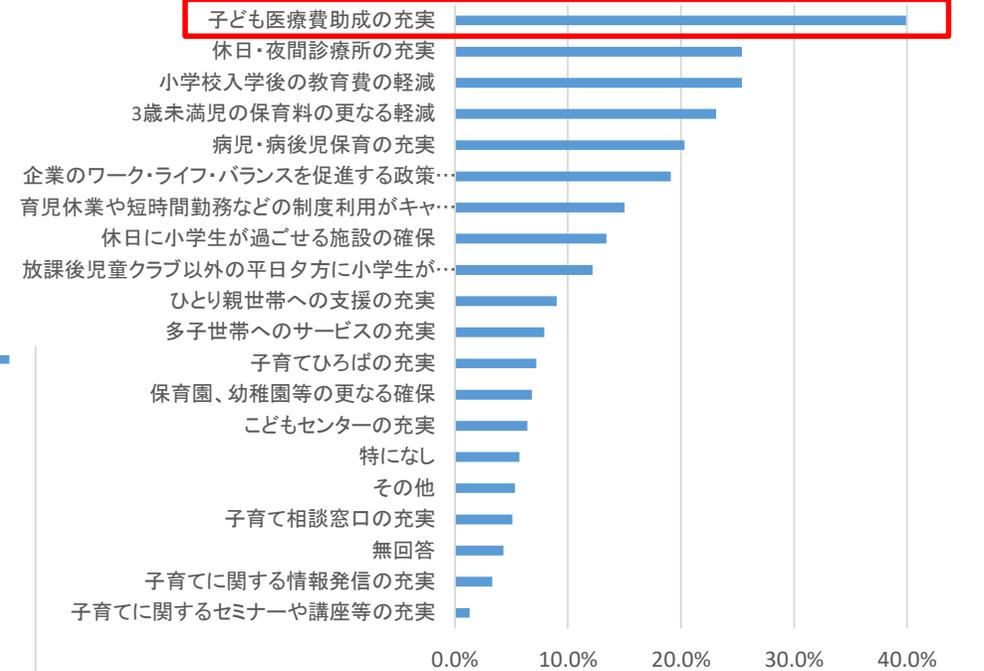
問17 子育てをする上で、現在、特に不安に思っていることや悩んでいること



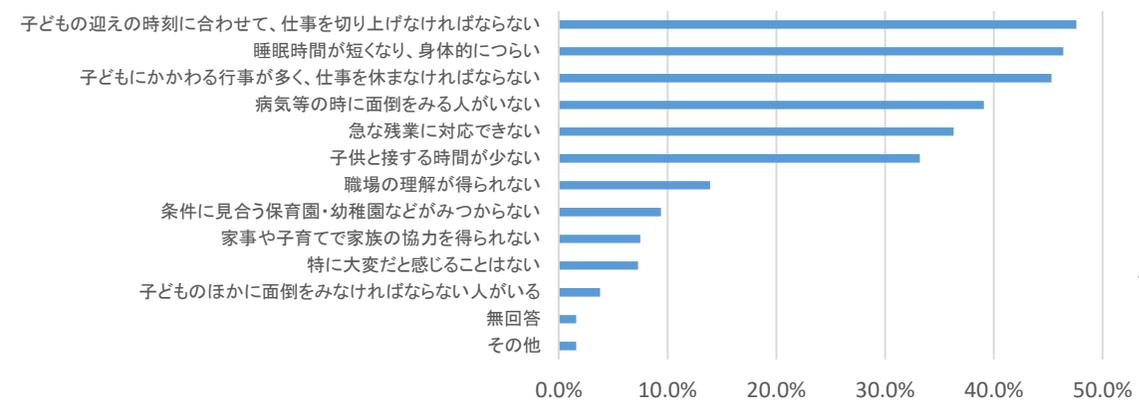
問16 行政や民間団体等による妊娠・出産支援について、取組を強化してほしいこと



問28 子育て環境の充実のために、今後さらに取組を強化してほしいこと



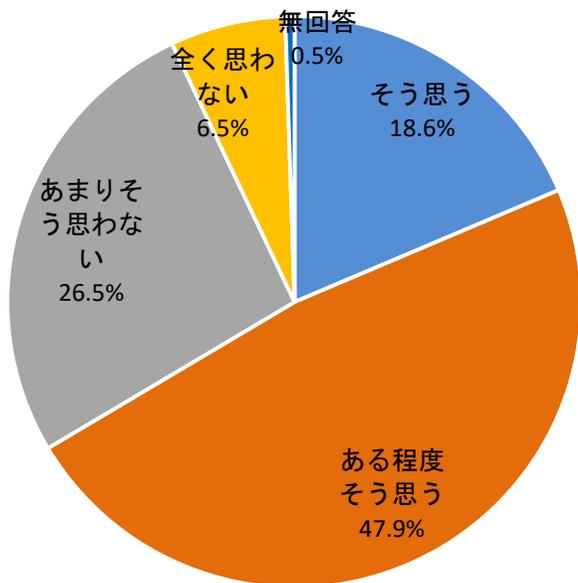
問18 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること



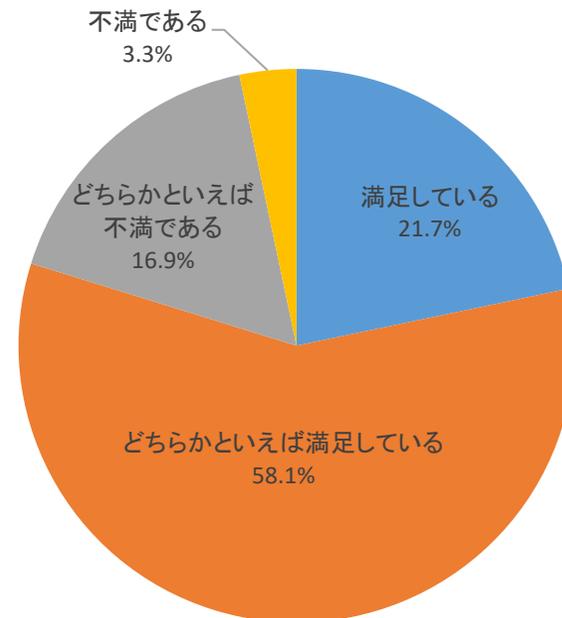
「しごと」に関する回答（働く場、しごとの満足度について）

- 「働く場が整っている」と思っている人が約66%、令和元年度調査と比較して約24%増加した。男性で「働く場が整っている」と思っている人は約69%であり、約34%増加した。
- 現在の「しごと」について、全体的に見て満足していると答えた人は約80%となっている。令和元年度調査と比較して男性で約5%増加した。

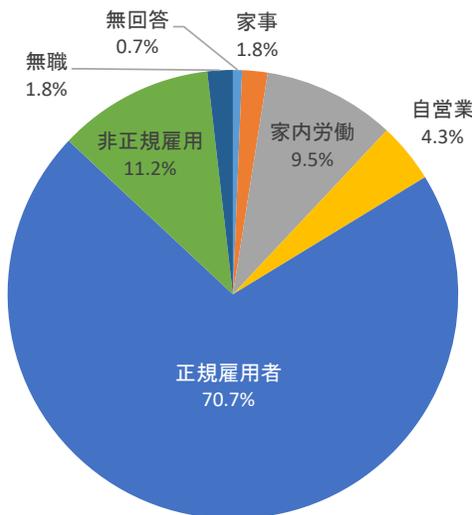
問29 現在の生活実態・生活実感として、働く場が整っていると思うか



問34 現在の「しごと」について、全体的に見て満足しているか



問30 最も希望する就労の形態

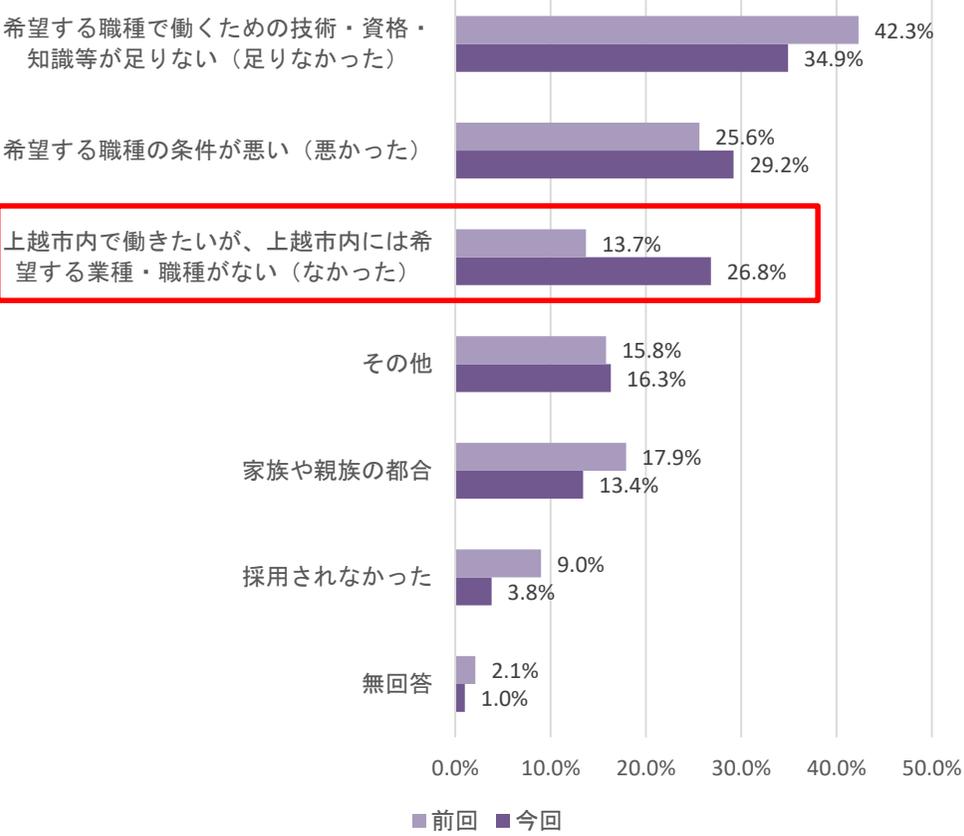


その他の「しごと」関連の回答

- 最も希望する業種・職種に就けていない理由として「上越市内で働きたいが、上越市内には希望する業種・職種がない（なかった）」の回答が前回比で13.1%増加した。
- この回答者が希望する職種は、男性は「情報通信業」、女性は「学術研究、専門・技術サービス業」が多い。

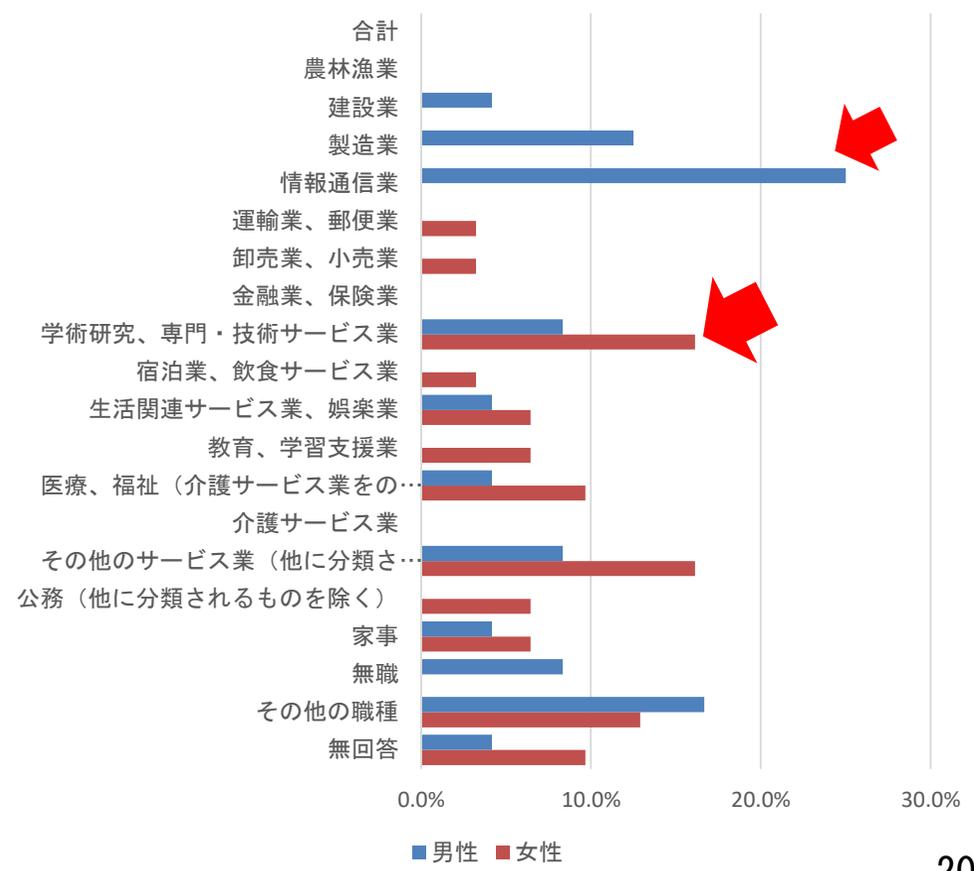
問36 最も希望する業種・職種に就けていない理由

(複数選択)



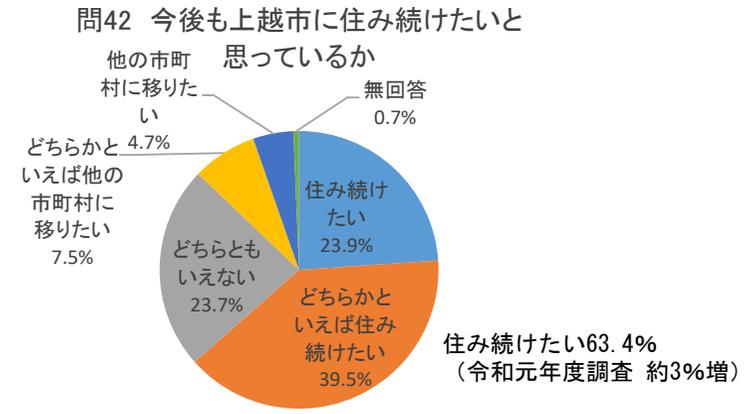
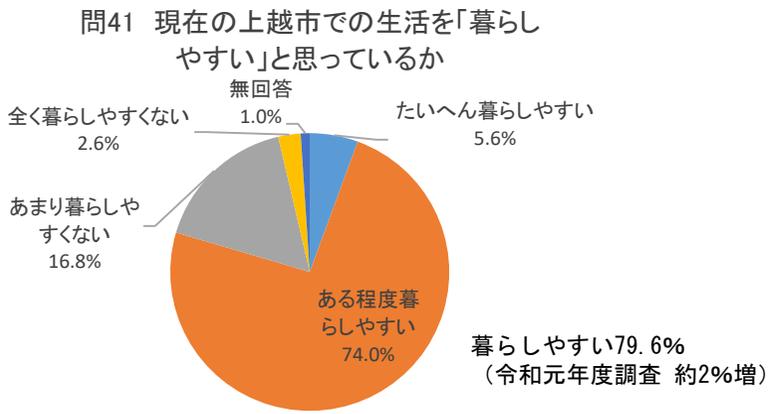
問36 「上越市内で働きたいが、上越市内には希望する業種・職種がない

(なかった)」の回答者における、問31希望職種の回答構成比

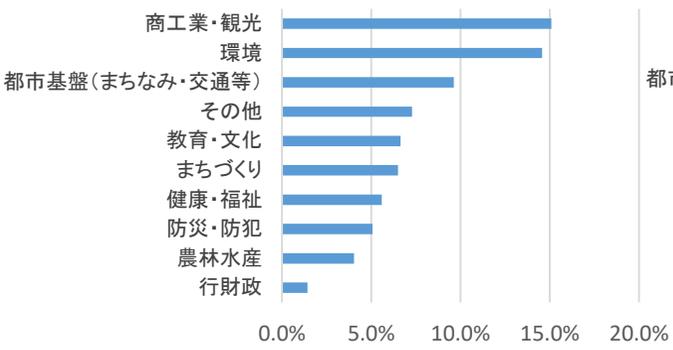


まちづくりに関する回答

- 上越市での生活を「暮らしやすい」と思っている人が約8割、上越市に「住み続けたい」と思っている人が約6割となっている。
- 上越市での暮らしで気に入っていることでは、「商工業・観光」、「環境」が多い。
- 若者・子育て世代が魅力的なまちになるために、今後、必要なこと・ものでは「商工業・観光」、「教育・文化」が多い。
若者・子育て世代が住みたい・住み続けたいと思うために重視してほしいことでは、「教育・文化」、「商工業・観光」が多い。

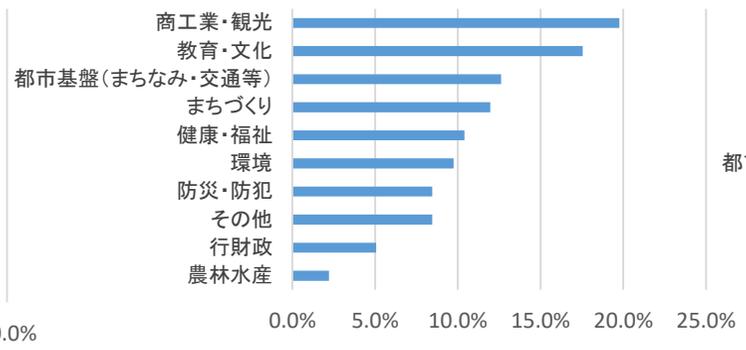


問43① 上越市での暮らしの中で特に気に入っていること(まちの特色や行事・場所など)



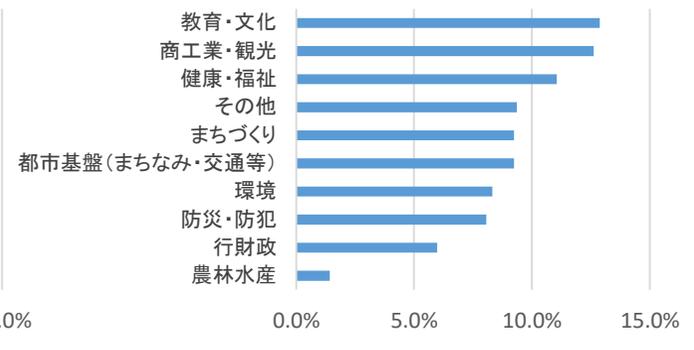
商工業・観光：高田城址公園（観桜会）
うみがたり
環境：自然・風土

問43② 若者・子育て世代にとって、上越市が魅力的なまちになるために、今後、特に必要なこと・もの



商工業・観光：商業施設の充実、遊ぶ場所の充実、
上越妙高駅周辺の開発
教育・文化：子育て支援の拡充（保育料・給食費等）
教育費（授業料）補助の拡充

問43③ 若者・子育て世代が住みたい・住み続けたいと思うために、特に重視してほしいこと



教育・文化：子育て支援の拡充、教育環境の充実
商工業・観光：商業施設の充実、遊ぶ場所の充実、
働く場の充実

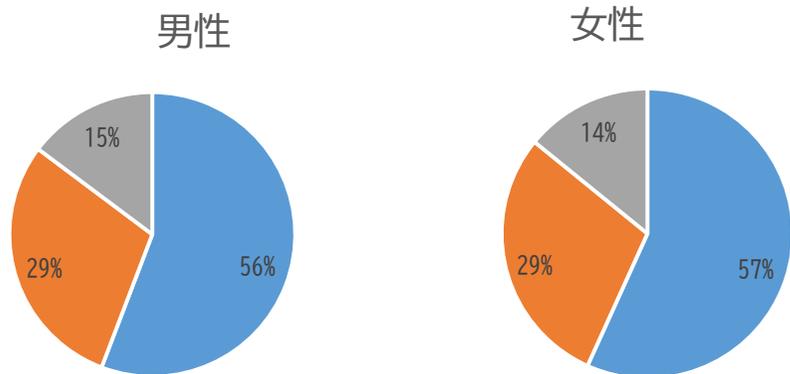
特徴的なデータ等の抜粋

- ・ 上越市の人口・世帯数の概況(創造行政研究所)
- ・ 各具体的施策の進捗状況等 (進捗が遅れているものの抜粋)
- ・ 若者世代・子育て世代の市民アンケート
- ・ 高校生アンケート
- ・ 社会経済環境の変化等に関する参考データ

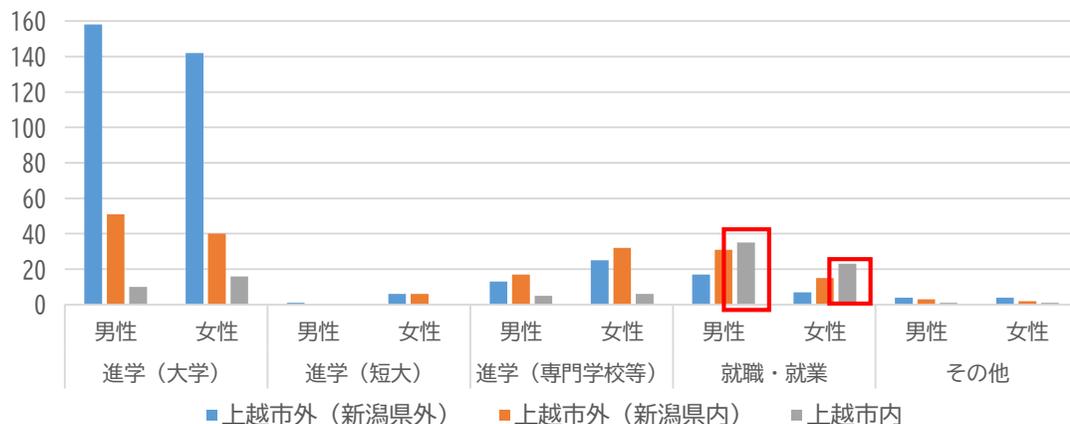
高校卒業後・大学等卒業後の居住希望地について

- 高校卒業後・大学等卒業後ともに「上越市外（新潟県外）」の希望が最も多い。
- 「就職・就業」を希望する人は、「上越市内」を希望する人が最も多い。
- 上越市外の大学等へ進学後、上越市内に戻ってくる人の割合は、男性のほうが多い。

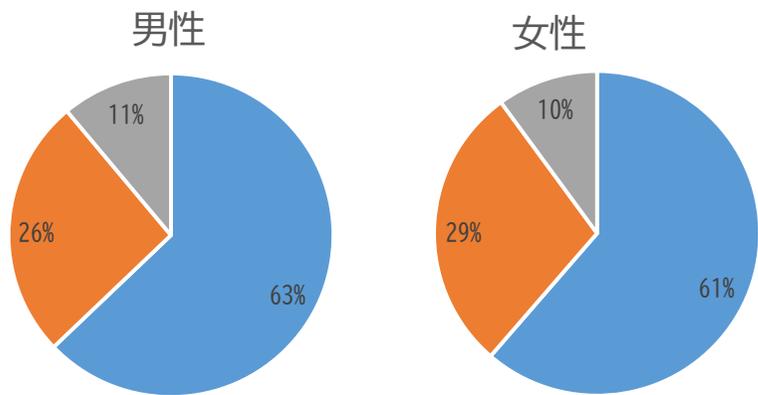
高校卒業後の居住希望地（男女別）



高校卒業後の居住希望地（進路別）



大学等卒業後の居住希望地（男女別）



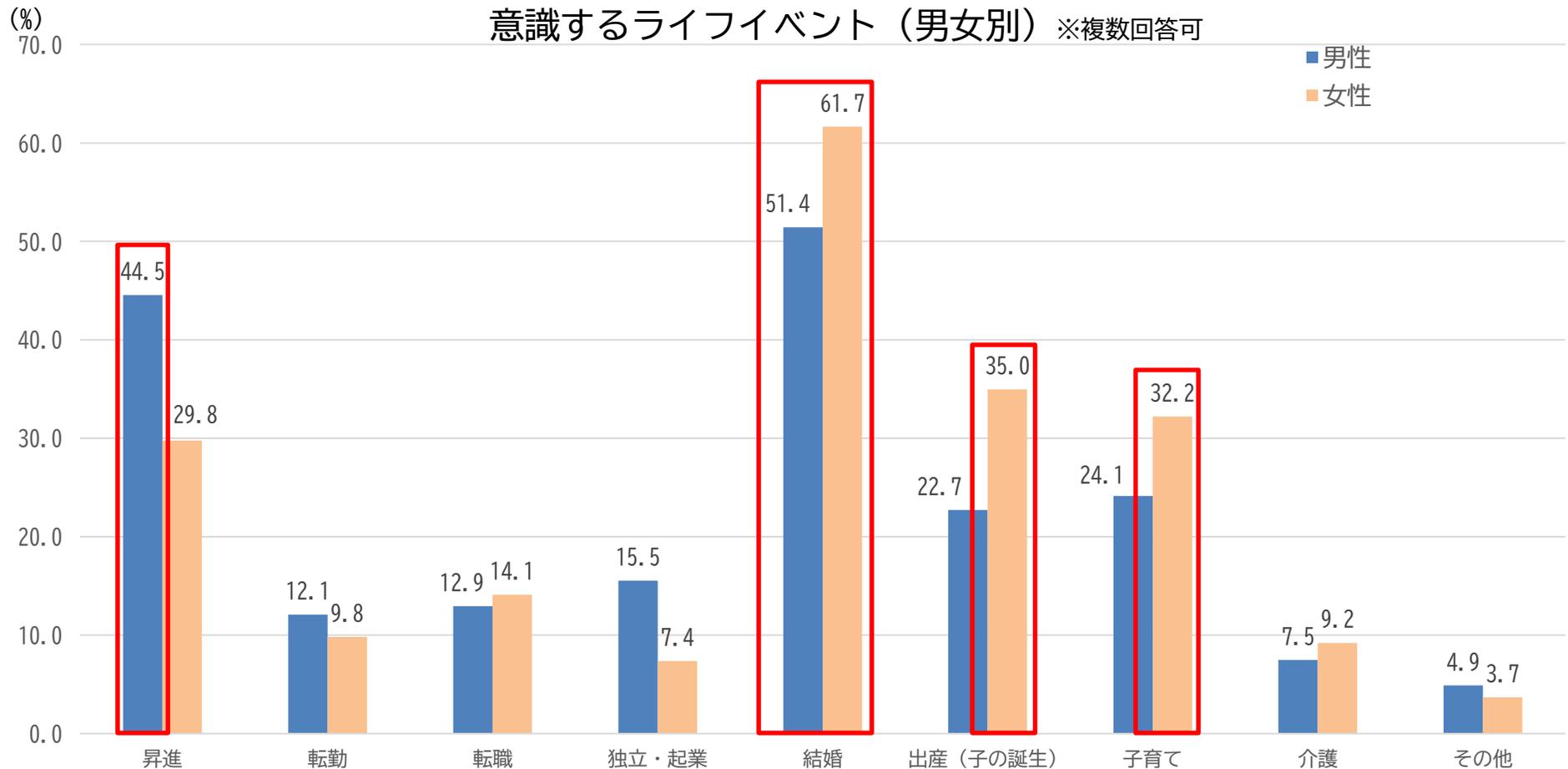
大学等卒業後の居住希望地（進路別）



■上越市外（新潟県外） ■上越市外（新潟県内） ■上越市内

意識するライフイベントについて

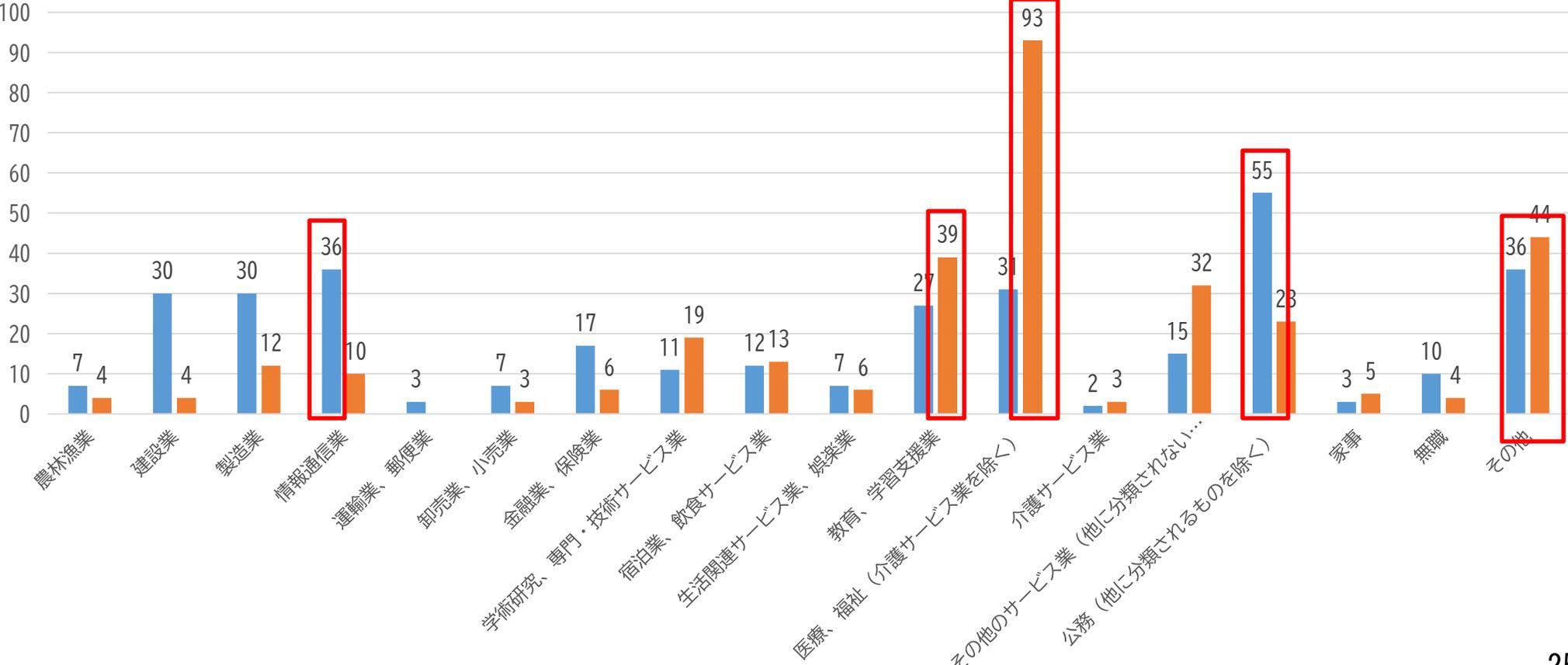
- 男女ともに、「結婚」を意識している人が最も多く、半数以上（男性51.4%、女性61.7%）が意識している。
- その他、男性は「昇進（44.5%）」、女性は「出産（35.0%）」「子育て（32.2%）」を意識している人の割合が多い。



希望する職種について

- 男性は、「公務」「情報通信業」の順で希望する人が多く、「若者世代・子育て世代の市民アンケート」と同様に「情報通信業」の希望が多い。
- 女性は、「医療、福祉」「教育、学習支援業」の順で希望する人が多い。
- 「その他」の割合も多く、「スポーツ選手」「音楽関係」「美容関係」や、具体的な職名の回答もあった。

希望する職種（男女別）



特徴的なデータ等の抜粋

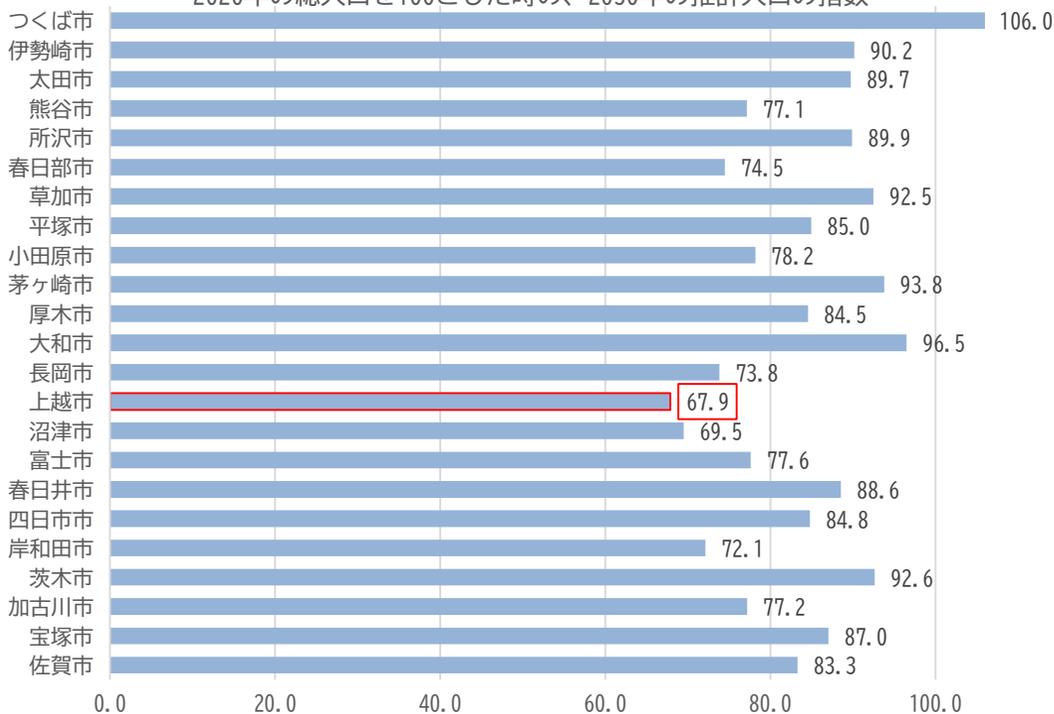
- ・ 上越市の人口・世帯数の概況(創造行政研究所)
- ・ 各具体的施策の進捗状況等 (進捗が遅れているものの抜粋)
- ・ 若者世代・子育て世代の市民アンケート
- ・ 高校生アンケート
- ・ 社会経済環境の変化等に関する参考データ

社会経済環境の変化等に関する参考データ

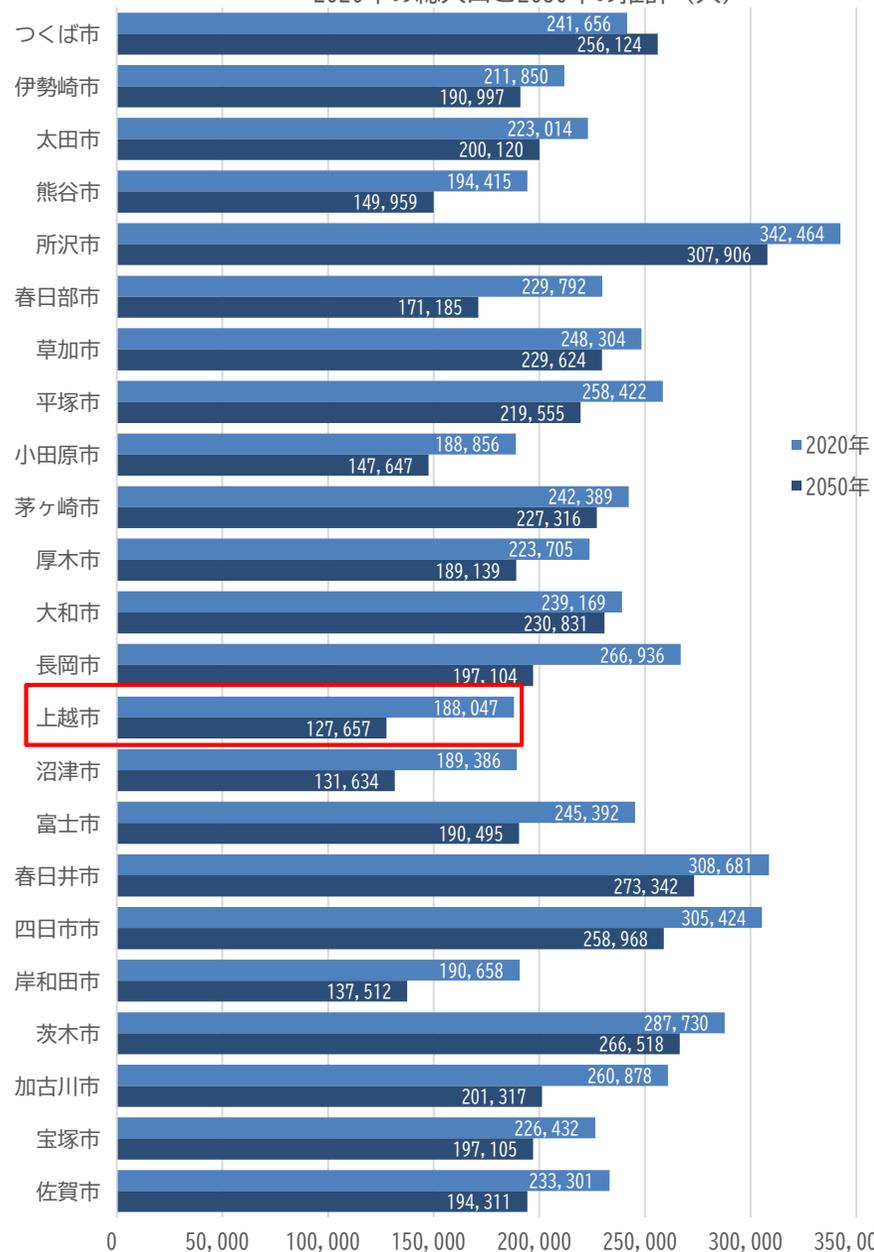
(1)人口減少と少子高齢化社会の本格的な到来

- ▶出生率の低迷により若年者人口が減少する「少子化」と、人口に占める高齢者の割合が増加する「高齢化」が同時に進行。
- ▶あらゆる分野での担い手不足やコミュニティの希薄化など、社会全体の活力が弱まる懸念。

類似自治体（施行時特例市）との比較
2020年の総人口を100とした時の、2050年の推計人口の指数



類似自治体（施行時特例市）との比較
2020年の総人口と2050年の推計（人）



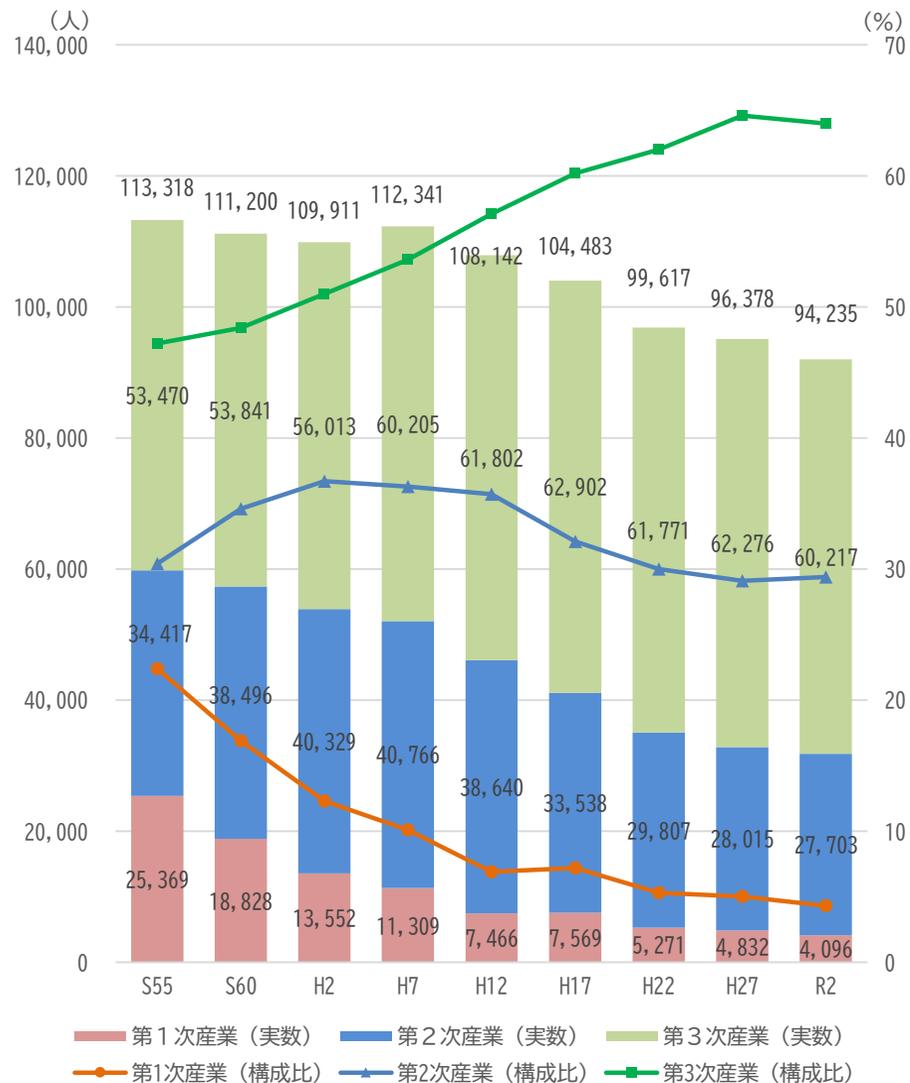
社会経済環境の変化等に関する参考データ

(5) 経済情勢や産業構造の変化

令和2年の就業構造の比較

区分	上越市		新潟県		全国	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
15歳以上人口	163,774	-	1,926,852	-	108,258,569	-
労働力人口	97,074	-	1,125,401	-	59,949,767	-
就業者数 計	94,235	100.0	1,084,410	100.0	57,643,225	100.0
[第1次産業 計]	4,096	4.3	55,719	5.1	1,962,762	3.4
農業, 林業	4,047	4.3	54,214	5.0	1,830,697	3.2
漁業	49	0.1	1,505	0.1	132,065	0.2
[第2次産業 計]	27,703	29.4	302,187	27.9	13,259,479	23
鉱業, 砕石業, 砂利採取業	112	0.1	1,309	0.1	18,891	0.0
建設業	9,833	10.4	102,780	9.5	4,184,052	7.3
製造業	17,758	18.8	198,098	18.3	9,056,536	15.7
[第3次産業 計]	60,217	64	704,334	65	40,679,332	70.6
電気・ガス・熱供給・水道業	558	0.6	7,349	0.7	275,595	0.5
情報通信業	736	0.8	14,361	1.3	1,955,619	3.4
運輸業, 郵便業	4,070	4.3	50,995	4.7	3,117,623	5.4
卸売業, 小売業	13,583	14.4	171,625	15.8	8,805,576	15.3
金融業, 保険業	1,470	1.6	20,715	1.9	1,355,161	2.4
不動産業, 物品賃貸業	1,057	1.1	13,013	1.2	1,253,905	2.2
学術研究, 専門・技術サービス業	2,362	2.5	25,075	2.3	2,103,074	3.6
宿泊業, 飲食サービス業	4,493	4.8	53,942	5.0	3,095,434	5.4
生活関連サービス業, 娯楽業	3,135	3.3	37,771	3.5	1,979,446	3.4
教育, 学習支援業	4,541	4.8	49,790	4.6	2,829,694	4.9
医療, 福祉	13,823	14.7	147,305	13.6	7,633,170	13.2
複合サービス事業	1,350	1.4	12,258	1.1	441,618	0.8
サービス業 (他に分類されないもの)	5,139	5.5	62,325	5.7	3,801,218	6.6
公務 (他に分類されるものを除く)	3,900	4.1	37,810	3.5	2,032,199	3.5
[分類不能]	2,219	2.3	22,170	2.0	1,741,652	3.0
完全失業者	2,839	-	40,991	-	2,306,542	-
非労働力人口	60,605	-	724,305	-	36,603,968	-
不詳	6,095	-	77,146	-	11,704,834	-

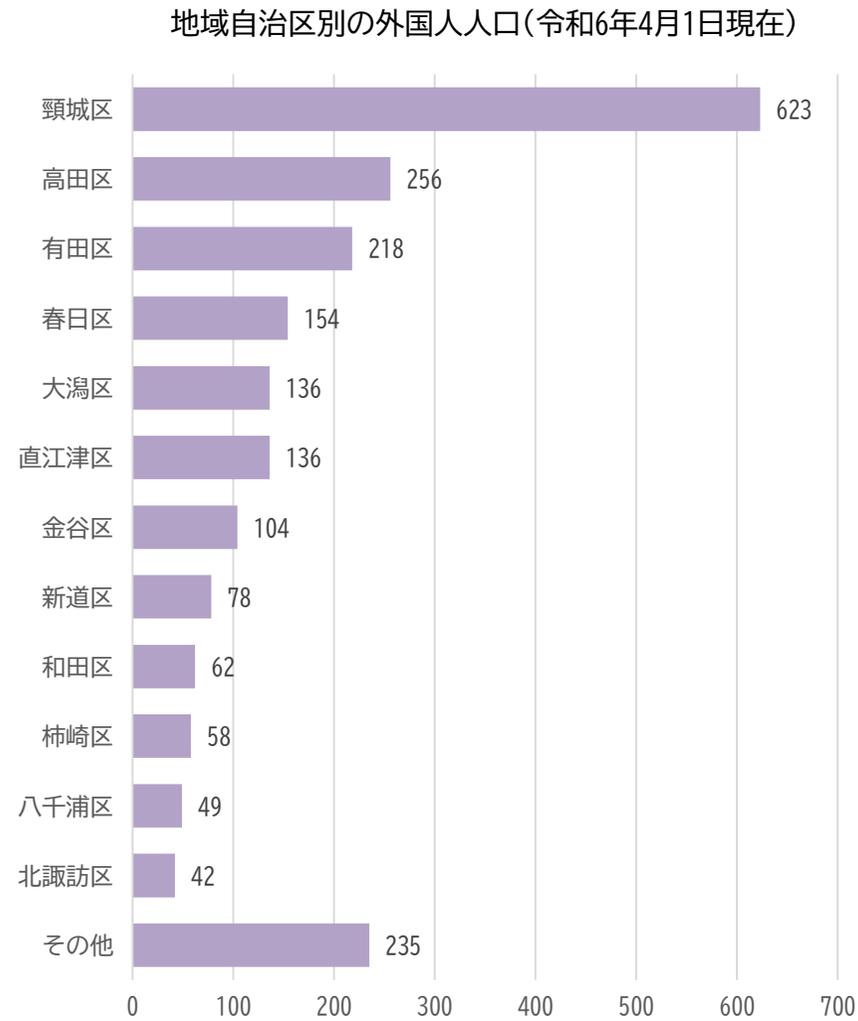
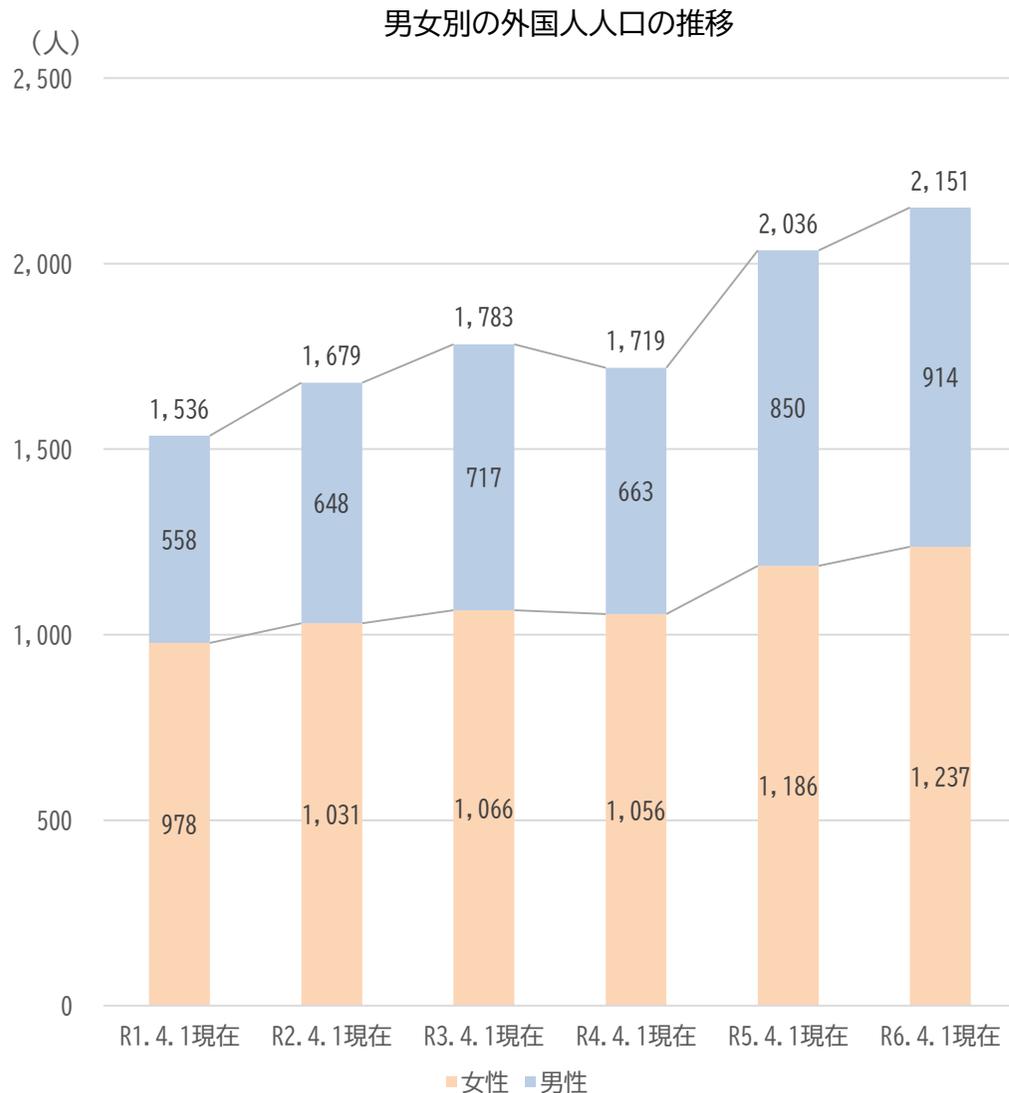
就業構造の変化



社会経済環境の変化等に関する参考データ

(8)外国人の増加

▶労働人口の不足を補うための外国人労働者の増加。



(住民基本台帳により作成)